

平成29年度 当初予算（案）

主な事業の説明書

水道局

款 項 目 大 事 業	ページ
[上水道事業会計]	
平成29年度上水道事業会計予算	12 - 1
配水施設拡張改良事業	12 - 2
大曲上水道宇津台浄水場更新事業	12 - 3
(新規) 水道未普及地域解消事業	12 - 4
[簡易水道事業会計]	
平成29年度簡易水道事業会計予算	12 - 5
(新規) 神宮寺地区簡易水道水源改良事業	12 - 6
入角地区簡易水道水源新設事業	12 - 7
豊岡地区簡易水道水源新設事業	12 - 8
協和南部地区簡易水道事業	12 - 9
配水管等布設事業	12 - 10

事 業 説 明 書

上水道事業会計

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 水道施設の整備と水道事業の統合

(基本事業) 水源環境の改善に向けた事業の推進

継続

課所名： 水道局 上水道課

『事業名』 **上水道事業**

【29年度】 **2,841,061** 千円 【28年度】 **1,362,491** 千円 【増減額】 **1,478,570** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
22,618		1,200,000	1,618,443	

上水道事業会計 1,618,443千円

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

使用者ニーズの把握によりサービスと負担の適正化を図るとともに、計画的に更新事業を進め、水道水の安定供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与することを目的とする。

【数値目標（平成29年度の業務予定量）】

1. 給水戸数	14,502戸	(H28	14,351戸)
2. 年間総配水量	4,157,973m ³	(H28	4,172,103m ³)
3. 一日平均配水量	11,392m ³	(H28	11,430m ³)

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

平成21年度に国の水道ビジョンに準じる大仙市地域水道ビジョン「大仙市の水道」を策定し、「安全で安心な水の安定供給と持続」を基本理念に、当市水道事業のあるべき姿が明確化され、その実現に向けた基本方針や方策を定め、鋭意取り組んできた。この結果、最も生活に密着した欠かすことのできないインフラとして、未普及地域の解消や給水区域の拡張が実施されている。

3. Check (評価：問題と課題)

上水道事業は昭和34年に供用を開始し、以来、50年余りが経過している。供用開始当初は、公衆衛生の向上による生活環境の改善が大きな役割であったが、現在は少子高齢化や家族構成の変化、省エネ意識の浸透、節水機器の普及等により、水需要は大きく減少している。

他方で、施設設備が更新期を迎えているほか、ライフラインとしての水道施設の重要性が認識されており、災害時においても安定的に供給できるような施設設備の耐震化が急務となっている。更には水質やサービスに関する使用者ニーズへ対応するとともに、増加傾向にある未収金徴収への対応が必要となってくる。

4. Act (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

国が作成した新水道ビジョンに準じる『大仙市新水道ビジョン』を策定し、今後も「安全で安心な水の安定供給と持続」を基本理念に、当市水道事業のあるべき姿を明確にし、その実現に向けた基本方針や方策を定め、鋭意取り組んでいく。

【収益的収支予算】

上水道事業収益	928,547 千円
営業収益	823,819 千円
営業外収益	104,727 千円
特別利益	1 千円
上水道事業費用	661,017 千円
営業費用	617,294 千円
営業外費用	40,723 千円
特別損失	1,500 千円
予備費	1,500 千円

【資本的収支予算】

資本的収入	1,228,880 千円
工事負担金	1,000 千円
負担金	0 千円
企業債	1,200,000 千円
補償金	0 千円
出資金	5,262 千円
国庫補助金	22,618 千円
資本的支出	2,180,044 千円
建設改良費	2,043,530 千円
企業債償還金	136,514 千円

○債務負担行為の設定 平成30～34年度（5年間）
 水道料金等徴収業務委託費 341,550千円
 （窓口・徴収業務の民間委託）

※収入額が支出額に対し不足する額については、過年度分損益勘定留保資金599,848千円、減債積立金100,000千円、建設改良積立金100,000千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額151,316千円で補てんする。

事 業 説 明 書

上水道事業会計

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 水道施設の整備と水道事業の統合

(基本事業) 老朽化した施設設備の更新と耐震化の推進

継続

課所名： 水道局 上水道課

『事業名』 **上水道事業 配水施設拡張改良事業**

【29年度】 **90,630** 千円 【28年度】 **117,078** 千円 【増減額】 **△ 26,448** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			90,630	

上水道事業会計 90,630千円

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

上水道未普及地区へ上水道を延長するための配水管拡張整備を進める。また、水道水の安定供給、濁り水発生防止及び適正な水圧を確保するため、老朽配水管の更新及び耐震化を進めるとともに末端配水管の改良を行う。さらに、他団体及び他事業の事業施行に伴い、支障となる水道管の移設を行う。

平成29年度の工事実施区間の配水管は布設後40年から50年余を経過しているため更新するものであり、今後も経年劣化した配水管の改良を計画的に継続実施していく。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

拡張事業により未普及地域の解消と、給水収益の確保による経営基盤の安定化が図られた。また、老朽配水管の更新により濁り水や漏水事故による断水の防止、適正な水圧で水の供給を行うことができています。

	H23	H24	H25	H26	H27
更新延長(km)	2.4	2.3	2.6	1.2	0.4
管路総延長(km)	285.2	286.7	287.8	288.8	289.9
更新率	0.84%	0.80%	0.90%	0.42%	0.14%

※更新率0.76%
(H26全国平均値)

3. Check (評価：問題と課題)

現在の管路更新率0.14%(H27)で全ての管路の更新を行った場合には、長い年数を要する状況であり、年間の更新延長を大幅に増やす必要があるが、人口動向等に注視しながら、限られた財源の中で効率的な整備を行っていくことが必要となってくる。

4. Act (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

漏水事故や濁り水の発生しやすい管路について、優先的に改良を実施し、有収率の向上を図るとともに、安全で安心な水道水の安定的な供給を目指す。

- (1) 配水管布設工事 19,617 千円
 - 1. 内小友字下田谷地地内(拡張工事) L=560.0m
 - 2. 四ツ屋字上前村地内(拡張工事) L=80.0m
- (2) 配水管改良工事 64,030 千円
 - 1. 富士見町地内 L=583.5m (老朽管の取替工事)
 - 2. 福田町地内 L=270.8m (老朽管の取替工事)
 - 3. 飯田字家ノ前地内 L=45.0m (老朽管の取替工事)
 - 4. 大曲須和町地内 L=378.8m (老朽管の取替工事)
 - 5. 大曲西根字上毘沙門沢地内 (減圧弁設置工事)
- (3) 配水管移設工事 6,983 千円
 - 1. 県道側溝整備事業に伴う配水管移設工事
 - 1) 大曲日の出町2丁目地内 L=44.0m
 - 2. 公共下水道整備工事に伴う配水管移設工事

事業説明書

上水道事業会計

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 水道施設の整備と水道事業の統合

(基本事業) 老朽化した施設設備の更新と耐震化の推進

継続

課所名： 水道局 上水道課

『事業名』 **上水道事業 大曲上水道宇津台浄水場更新事業**

【29年度】 **1,882,640** 千円 【28年度】 **345,718** 千円 【増減額】 **1,536,922** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		1,200,000	682,640	

上水道事業会計 682,640千円

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

宇津台浄水場は運用開始から50年以上経過しており、経年劣化が顕著で、突発的な障害発生の危険性が高まっている。そのため、施設設備の更新とともに、集中監視設備の導入等による機能強化、施設の耐震化を進めることにより、安全で安心な水道水の安定供給を目指す。

【新浄水場築造工事実施期間：平成28年度～平成30年度】

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

- 平成25年度：更新予定地の地形・用地測量業務委託等
- 平成26年度：実施設計業務委託等
- 平成27年度：更新予定地の土地購入・立木補償、工事用道路測量設計業務委託等
- 平成28年度：変更設計業務委託、浄水場築造(土木・建築)工事等

平成28年度より、浄水場築造(土木・建築)工事および浄水場築造(機械設備・電気設備)工事が着工されており、平成30年度の完成へ向けて円滑な事業推進を図っている。

3. Check (評価：問題と課題)

実施設計の結果、施設仕様の見直しや昨今の物価上昇等の影響により、当初想定された事業費よりも増大した状況となっている。このことから、事業を円滑に推進していくために、企業債借入を増額して、事業費の確保に努めていく。

4. Act (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

事業が長期に渡るとともに事業費が多額のため、工事内容を精査し、併せて経費の圧縮を図る。また、料金収入による自主財源と、企業債借入予定額の再検討を行い、事業費の財源確保に努める。

事業効果として、施設設備の更新とともに機能強化を図ることにより、危機管理機能と水質管理の容易性が向上し、より安全で安心な水道水の安定供給が可能となる。

総事業費	平成25～27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
2,779,748 千円	92,108 千円 (実施設計・測量等)	60,483 千円 (築造工事)	1,882,640 千円 (築造工事・監理委託)	714,517 千円 (築造工事・監理委託)	30,000 千円 (既存施設解体工事)

工種別事業費および事業内容

土木工事	1,100,520 千円	仮設道路工事、造成工事、浄水処理施設築造工事、排水排泥池築造工事、各種配管工事、擁壁工事、場内整備工事
建築工事		浄水処理施設管理棟・車庫棟建築本体工事、建築付帯電気・機械設備工事
機械設備工事	1,517,616 千円	前処理設備工事、急速ろ過設備工事、浄水地設備工事、排水排泥池設備工事、濃縮槽設備工事、薬品注入設備工事、場内配管工事
電気設備工事		受変電設備工事、動力設備工事、自家用発電機設備工事、監視制御設備工事、取水ポンプ速度制御設備工事
その他	161,612 千円	実施設計業務、用地等測量業務、土地購入費、各種補償費、既存施設解体工事

事 業 説 明 書

上水道事業会計

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 水道施設の整備と水道事業の統合

(基本事業) 水源環境の改善に向けた事業の推進

新規

課所名： 水道局 上水道課

『事業名』 **上水道事業 水道未普及地域解消事業**

【29年度】 **57,519** 千円 【28年度】 **0** 千円 【増減額】 **57,519** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
22,618			34,901	

上水道事業会計 34,901千円

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

七頭地区は、自家用井戸により取水していたが、近年の水源水質悪化や地下水の水量不足が課題となっている。地区住民から水道整備を求める要望が挙がっており、安全で安心な水道水を安定的に供給すること、さらには給水区域内の水道未普及地域の解消を目的として、七頭地区を整備する計画とした。

市総合計画では、「生活の基盤が整ったまちづくり」を効果的に進めるため、水道の整備を重点的に取り組むべき施策として位置付けており、「市民の快適な生活を支える安全な水道水を安定的に供給するため、大仙市全域にわたる水道事業計画を策定し給水区域の拡大を図り、生活用水に不安を抱えた地域及び未普及地域の解消に努める」としている。

七頭地区を整備することにより、安全安心な水道水を供給し、経営基盤の強化等につながると見込んでいる。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

3. Check (評価：問題と課題)

地域住民が安全で安心できる公衆衛生の向上と生活環境の改善に備える。

4. Act (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

○平成29年度 事業及び配水施設整備工事概要

配水管布設工事設計業務委託

配水管布設工事(内小友字前田橋～字寺山地内) L=590.0m

○平成30年度 事業及び配水施設整備工事概要(予定)

配水管布設工事(七頭地内) L=3,640.0m

○平成31年度 事業及び配水施設整備工事概要(予定)

配水管布設工事(七頭地内) L=3,550.0m

増圧ポンプ室及び増圧ポンプ設備工事(高寺地内)

事 業 説 明 書

簡易水道事業会計

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 水道施設の整備と水道事業の統合

(基本事業) 水源環境の改善に向けた事業の推進

継続

課所名： 水道局 上水道課

『事業名』 **簡易水道事業**

【29年度】 **2,015,765** 千円 【28年度】 **2,513,105** 千円 【増減額】 **△ 497,340** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		180,200	1,375,565	460,000

簡易水道事業会計 1,375,565千円

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

使用者ニーズの把握によりサービスと負担の適正化を図るとともに、計画的に更新事業を進め、清浄にして低廉豊富な水道水の安定供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与することを目的とする。

【数値目標（平成29年度の業務予定量）】

- | | | |
|------------|--------|-------------------|
| 1. 給水戸数 | | 8,837戸 |
| 2. 年間総配水量 | 2,473, | 761m ³ |
| 3. 一日平均配水量 | 6, | 777m ³ |

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

平成21年度に国の水道ビジョンに準じる大仙市地域水道ビジョン「大仙市の水道」を策定し、「安全で安心な水の安定供給と持続」を基本理念に、本市簡易水道事業のあるべき姿が明確化され、その実現に向けた基本方針や方策を定め、鋭意取り組んできた。この結果、最も生活に密着した欠かさすことのできないインフラとして、安全で安心な水道水の安定的な供給を継続することで、良好な生活環境を提供してきた。

3. Check (評価：問題と課題)

水道施設および設備の経年劣化に適切に対処し、市民生活に影響が及ばないように努める。また、経費の節減や更なる加入促進に努めることで経営基盤の強化に繋げる。

4. Act (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

国が作成した新水道ビジョンに準じる『大仙市新水道ビジョン』を策定し、今後も「安全で安心な水の安定供給と持続」を基本理念に、本市簡易水道事業のあるべき姿を明確にし、その実現に向けた基本方針や方策を定め、鋭意取り組んでいく。

【収益的収支予算】

簡易水道事業収益	1,273,209 千円
営業収益	802,829 千円
営業外収益	470,379 千円
特別利益	1 千円
簡易水道事業費用	1,246,257 千円
営業費用	1,040,512 千円
営業外費用	199,745 千円
特別損失	1,000 千円
予備費	5,000 千円

【資本的収支予算】

資本的収入	419,693 千円
工事負担金	0 千円
負担金	0 千円
企業債	180,200 千円
補償金	4,893 千円
出資金	234,600 千円
資本的支出	769,508 千円
建設改良費	213,954 千円
企業債償還金	555,554 千円

○債務負担行為の設定 平成30～34年度（5年間）
水道料金等徴収業務委託費 252,450千円
（窓口・徴収業務の民間委託）

※収入額が支出額に対し不足する額については、当年度分損益勘定留保資金334,004千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額15,811千円で補てんする。

事 業 説 明 書

簡易水道事業会計

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 水道施設の整備と水道事業の統合

(基本事業) 水源環境の改善に向けた事業の推進

新規

課所名： 水道局 上水道課

『事業名』 **簡易水道事業 神宮寺地区簡易水道水源改良事業**

【29年度】 **10,774** 千円 【28年度】 **0** 千円 【増減額】 **10,774** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		10,700	74	

簡易水道事業会計 74千円

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

神宮寺地区簡易水道施設の水源水量減少に伴い、既存の水源を改良することで安定した取水量を確保し、水道事業の継続と使用者へ安全で安心な水道水の安定供給を図る。
平成29年5月に実施設計業務委託を発注後、8月より水源改良工事に着手し、10月の完成を予定している。

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

3. C h e c k (評価：問題と課題)

神宮寺地区簡易水道は平成4年に認可を取得し平成7年に創設された。水源地は2箇所あるが、第1水源の取水量が減少してきたことから、平成27年3月に第1水源、平成28年3月に第2水源の揚水試験を実施した。その結果第2水源の取水ポンプの交換及び揚水管の増径により安定揚水量の確保が可能であると判明した。一時的に第2水源が使用できなくなる期間が生じるため、配水池の水量の確保が課題である。

4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

○平成29年度 第2水源改良工事概要

平成29年5月 実施設計業務委託

平成29年8月 水源改良工事の実施

【機械設備】 導水ポンプ φ65×11.0kW×2台 N=1式

揚水管 φ80 NCP N=1式

【電気設備】 既設盤改造、機器更新、電気工事

集中監視装置ソフト改造

○施工場所: 大仙市神宮寺字金葛古川敷地内

事 業 説 明 書

簡易水道事業会計

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 水道施設の整備と水道事業の統合

(基本事業) 水源環境の改善に向けた事業の推進

継続

課所名： 水道局 上水道課

『事業名』 **簡易水道事業 入角地区簡易水道水源新設事業**

【29年度】 **2,916** 千円 【28年度】 **4,612** 千円 【増減額】 **△ 1,696** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			2,916	

簡易水道事業会計 2,916千円

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

入角地区簡易水道は、斉藤川の表流水を水源としているが、近年斉藤川上流の崩落及び周辺での林地開発等の影響により、取水部上流にある砂防ダムに土砂が堆積している。そのため、降雨時に濁度の上昇が発生し、水道水の安定供給に支障をきたしている状況にある。
このような状況の中、新たな水源を確保するものである。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

新たな水源を確保するため地下水調査を実施し、その調査の結果を受け、経営変更認可設計等の業務委託及び井戸築造等の工事を平成29年度以降実施する。

平成28年10月	電気探査業務委託	453,600円
平成28年12月	水源調査業務委託	4,158,000円

3. Check (評価：問題と課題)

水源を新設し、適正かつ効率的な水道施設等の維持管理に努めながら、水道事業を継続していく必要がある。

4. Act (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

新たな水源を確保するため地下水調査を実施し、その調査の結果を受け、経営変更認可設計等の業務委託及び井戸築造等の工事を平成29年度以降実施する。

平成29年 4月	水道事業経営変更認可設計業務委託	2,916,000円
----------	------------------	------------

平成30年 4月	実施設計業務委託
平成30年 7月	井戸築造工事 導水管布設工事 電気機械工事

事 業 説 明 書

簡易水道事業会計

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 水道施設の整備と水道事業の統合

(基本事業) 水源環境の改善に向けた事業の推進

継続

課所名： 水道局 上水道課

『事業名』 **簡易水道事業 豊岡地区簡易水道水源新設事業**

【29年度】 **124,200** 千円 【28年度】 **7,671** 千円 【増減額】 **116,529** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		124,200		

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

豊岡地区簡易水道施設の水源の水量が年々減少している。また、平成28年度から大神成地区農地集積加速化基盤整備事業の面工事が開始され、平成30年度には第1水源周辺の面工事が予定されており、水源の濁度が上昇する恐れがある。以上のことから平成30年度までに新たな取水井を築造し安定した取水量を確保し、水道事業の継続と使用者へ安全で安心な水道水を安定的に供給する。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

○平成28年度 水源新設工事概要

平成28年4月 電気探査業務委託 電気探査 N=6箇所

平成28年7月 水源調査業務委託 調査ボーリング2孔 L=70m

平成28年8月 水道事業経営変更認可設計業務委託

3. Check (評価：問題と課題)

豊岡地区簡易水道は平成元年に給水を開始しており、当初は第1・第2水源の2カ所から取水していたが、現在は第1水源のみとなっている。(第2水源は水量が減少し、水質が悪化しているため使用していない。)

近年第1水源の水位も低下してきており、また、大雨時水源の隣接地に泥水が流れ込むと水源の濁度が上昇するなど外部に影響されやすい水源となっている。

そのような中、平成28年度より大神成地区農地集積加速化基盤整備事業の面工事が開始され、第1水源周辺は平成30年度に予定されており、工事中の掘削等による濁度上昇が懸念される。濁度が上昇した場合、ろ過施設を有しないため断水措置を講じなければならないことから、水源周辺での面工事が開始される前に、工事区域外に新たな水源を確保する必要がある。

4. Act (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

○平成29年度 水源新設工事概要 (予定)

平成29年4月 実施設計業務委託

平成29年7月 取水井築造工事 (さく井工・井戸付帯工・機械器具設置工・電気設備工)

浅井戸 (H=20m φ300mm) N=1箇所

平成29年9月 導水管布設工事

DIP L=200m

事 業 説 明 書

簡易水道事業会計

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 水道施設の整備と水道事業の統合

(基本事業) 老朽化した施設設備の更新と耐震化の推進

継続

課所名： 水道局 上水道課

『事業名』 **簡易水道事業 協和南部地区簡易水道事業**

【29年度】 **36,105** 千円 【28年度】 **0** 千円 【増減額】 **36,105** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		36,100	5	

簡易水道事業会計 5千円

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

協和南部地区簡易水道は、施設機器・送水管・配水管等の経年劣化により漏水事故が頻繁に発生しており、水道水の安定供給に支障をきたしている状況にある。
 このため、平成27年度に策定した全体更新計画に基づき施設機器及び配管類を改修するものである。
 計画給水人口：1,760人 現在給水人口：1,121人
 計画一日最大給水量：590.0m³

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

○平成27年11月 協和南部地区簡易水道事業更新計画策定業務委託 業務委託費 3,240,000 円

3. Check (評価：問題と課題)

水道施設設備等の経年劣化による費用は発生するが、適正な水道事業の運営を図りつつ経費の節減に努めることで経営基盤の強化に繋げる。

4. Act (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

◎平成29年度実施計画概要

- 協和南部地区簡易水道事業更新整備工事実施設計業務委託 (1工区分)
 送水管路布設詳細設計 φ100 L=2,071m
 配水管路布設詳細設計 φ150 L=2,720m, φ50 L=1,059m(ΣL=3,779m)
 小口推進工 N=2箇所 L=30m JR部 国道部
- 協和南部地区簡易水道事業更新整備工事測量業務委託 (1工区分)
 基準点測量・地形測量・応用測量 N=1式
- 協和南部地区簡易水道事業更新整備工事地質調査業務委託 (1工区分)
 機械ボーリング、標準貫入試験 (小口推進工N=2箇所 JR部、国道部)

□計画スケジュール

- 平成30年度 第1工区工事、工事監理、実施設計 (第2工区分)
- 平成31年度 第2工区工事、工事監理、実施設計 (第3工区分)
- 平成32年度 第3工区工事、工事監理、実施設計 (第4工区分)
- 平成33年度 第4工区工事、工事監理

事 業 説 明 書

簡易水道事業会計

(施策の大綱) 上下水道等の整備

(施策) 水道施設の整備と水道事業の統合

(基本事業) 老朽化した施設設備の更新と耐震化の推進

継続

課所名： 水道局 上水道課

『事業名』 **簡易水道事業 配水管等布設事業**

【29年度】 **5,832** 千円 【28年度】 **21,067** 千円 【増減額】 **△ 15,235** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			5,832	

簡易水道事業会計 5,832千円

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

簡易水道事業区域内における配水管を移設又は延長し、地域住民の公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

地域住民に断水等による不便をかけることなく工事を施工し、工事完了後は、適正かつ効率的な施設の維持管理に努め、安全で安心な水道水の安定的な供給を図る。

平成28年度	平成27年度	平成26年度
21,067	25,561	0

単位：千円

3. Check (評価：問題と課題)

神宮寺地区簡易水道について、松倉西仙北町線（通称：仙秋スーパー農道）における配水管は、当初東側の需要家への給水を主目的として道路東側に布設したが、西側の需要家には不便な位置にあるため、利便性を図ることを目的として、今回延長工事をするものである。実施にあたっては、円滑な事業の実施に努め、配水管布設及び移設に係る管路選定及び工法等の検討によるコストの縮減を図る。

南外地区簡易水道について、県事業の進捗と整合させながらの実施に努め、実施にあたっては配水管等設計を勘案し、コスト・維持管理の面で最良と思われる実施設計を行う。

4. Act (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

[神岡地域]

仙秋スーパー農道を横断し配水管を延長する。

- ・ 神宮寺地区簡水 平成29年5月 配水管布設工事
PP管 φ50 L=11.0m
- ・ 施工場所 大仙市松倉字布晒地内

[南外地域]

県発注 県道神岡南外東由利線バイパス整備に合わせて発注を進める。
 平成29年度に実施設計、平成30年度に添架等工事を行い、供用開始予定である。